



2021年1月5日

各位

会社名 株式会社 エアトリ
 代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
 (コード番号: 6191 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
 (TEL. 03-3431-6191)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月30日に公表した2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年9月期 通期 連結業績予想数値の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する当期 利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	24,000	390	330	240	11.75
今回修正予想(B)	24,300	449	389	275	13.47
増減額(B-A)	300	59	59	35	—
増減率(%)	1.3%	15.1%	17.9%	14.6%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	21,241	△8,994	△9,190	△8,692	△433.80

2. 修正の理由

当社グループでは、当期に入り、前期より取り組んできた各種施策及びコスト削減の成果が継続して実現されていることから、既存事業(エアトリ旅行事業、訪日旅行事業、ITオフショア開発事業、ライフイノベーション事業、ヘルスケア事業、投資事業)が引続き好調に推移しています。

エアトリ旅行事業においては、特に国内領域が好調に推移し、第1四半期を通じた収益及び利益の実績が、前回予想発表時の想定以上となりました。

新たに開始したヘルスケア事業に関しても、PCR検査等の需要の取り込みにより、当初想定以上に収益に貢献しています。

投資事業においては、投資先のヘッドウォータース社が2020年9月29日に上場する等、好調にスタートしています。

足元では新型コロナウイルスの感染拡大による旅行需要への影響も出ていますが、昨期に比較してグループ全体のコスト構造の変化や事業ポートフォリオの分散等が進み、ダウンサイドリスクは大きくないと見込んでいます。

以上より、2021年9月期の通期の連結業績予想は、売上収益の増加及び各段階損益が増加すると見込まれることから、前回公表した業績予想を上方修正いたしました。

(注) 上記業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定を行っており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。様々な要因には、今後の新型コロナウイルスの世界的な感染状況及びこれに対する政府等の対応により影響を受ける可能性があることが含まれます。

以上